

安全衛生経費を内訳として明示するための 「標準見積書」について

〈基本的な考え方〉

「人材」で成り立つ建設業において、建設工事従事者の安全及び健康の確保は、建設工事の大前提であり、最優先事項であるとの認識のもと、建設工事における安全衛生経費の適切な支払いのための施策の具体化や継続的な進化に取り組む。

- ①安全衛生経費の「見える化」
- ②安全衛生経費に関する意識改革
- ③安全衛生経費の適切な支払いに向けた取組のフォローアップ・進化

〈安全衛生経費の適切な支払いのための実効性ある施策〉

(1) 「安全衛生対策項目の確認表」と安全衛生経費の内訳明示のための「標準見積書」の作成・普及

- 元下間における安全衛生対策の認識のズレの解消や安全衛生意識の共有を図るため、建設工事の工種毎に安全衛生対策項目の確認表を作成し、その普及を図る
- 下請企業が元請企業(直近上位の注文者)に対して提出する見積書について、従来の総額によるものではなく、その中に含まれる安全衛生経費を内訳として明示するための「標準見積書」を作成し、その普及を図る

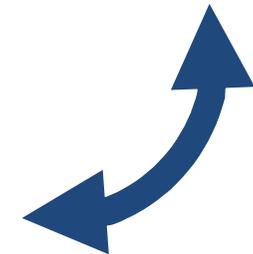
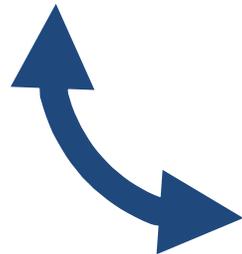
(2) 安全衛生経費の重要性・必要性に関する戦略的広報

- 適切な安全衛生経費の確保のためのリーフレットの充実
- インターネットやソーシャルメディアでの情報発信
- 安全衛生経費の確保に関するポスターの作成・配布
- 全国安全週間などでの集中的な広報
- 発注者向けのリーフレットの作成
- 一人親方向けのリーフレットの作成

WGを設置し、具体的に検討(令和4年～)

(3) 施策を体系的に進めるための仕組み構築

- 安全衛生経費の実態に関するフォローアップ調査
- 人材の育成
- 各主体がまとめたガイドブック、事例等をホームページで一元化
- 建設業法第19条の3の徹底



「建設工事における安全衛生経費の実態調査」の集計・分析結果

調査概要(安全衛生経費に係る結果の抜粋)

<調査の目的>

「安全衛生経費が下請負人まで確実に支払われる実効性のある施策」を検討するため、必要な基礎データの作成を目的として、安全衛生経費の実態を把握する調査を実施。

<調査方法>

ランダムに抽出した建設企業（約2万者）に対して、アンケート調査依頼を郵送。建設企業は専用WEBサイトから調査票をダウンロードし、回答をメール等で提出。

各社が受注した工事の内、代表的な工事を1つを抽出し、その工事について回答。

<調査期間>

平成31年 3月11日 ~ 令和元年 5月17日

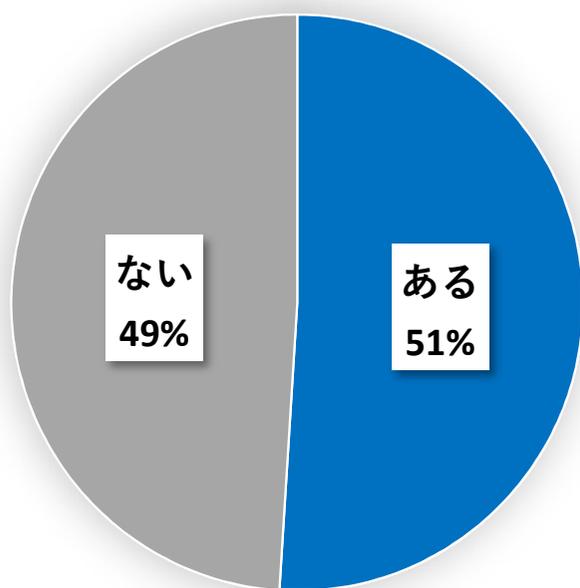
<回答数>

元 請	:	約 1, 000 者	(発注者から工事を受注)
中間次下請	:	約 400 者	(下請として工事を受注し、更に再下請に出している)
最終次下請	:	約 300 者	(下請として工事を受注し、再下請に出していない)

1. 安全衛生経費の見積書への記載の現状

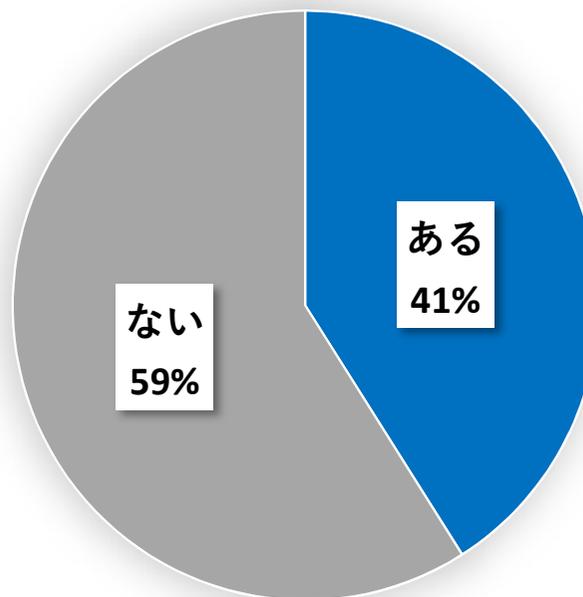
○元請の半数以上、中間下請の6割近く、最終次下請の半数近くで、請負金額の算定の社内ルールやマニュアルがない。

Q. 請負代金を算定するための、社内ルールやマニュアルがありますか。



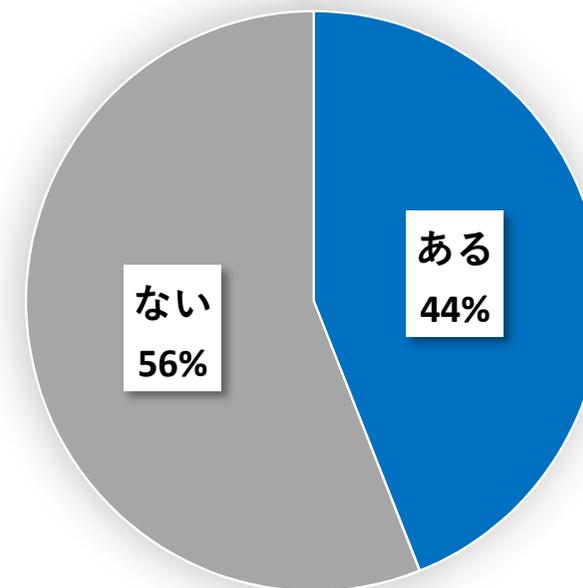
n=966

元請企業



n=374

中間次の下請企業



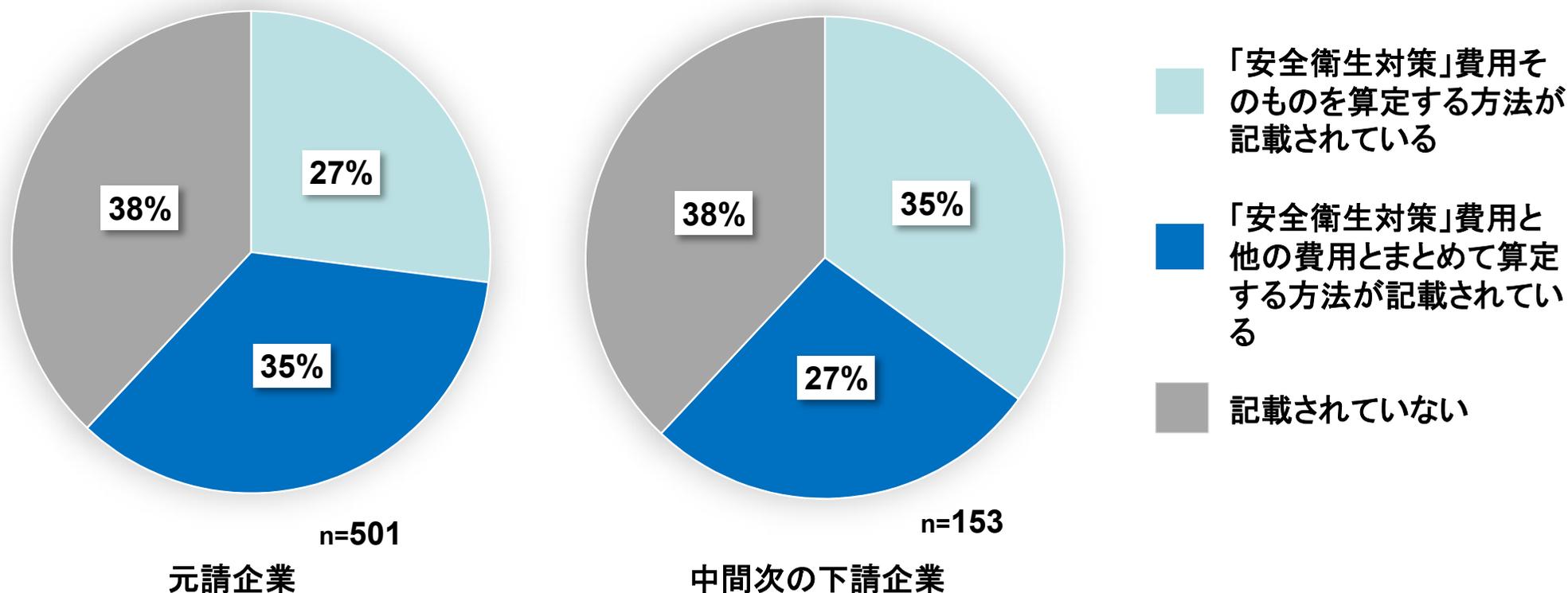
n=317

最終次下請

1. 安全衛生経費の見積書への記載の現状

- 社内ルール等がある企業の中には、『「安全衛生対策」のための費用そのものを算出する方法が記載されている』と回答した企業が3割程度。
- 一方で『安全衛生対策のための費用を算出する手法に関する記載がない』、と回答した企業は4割程度。

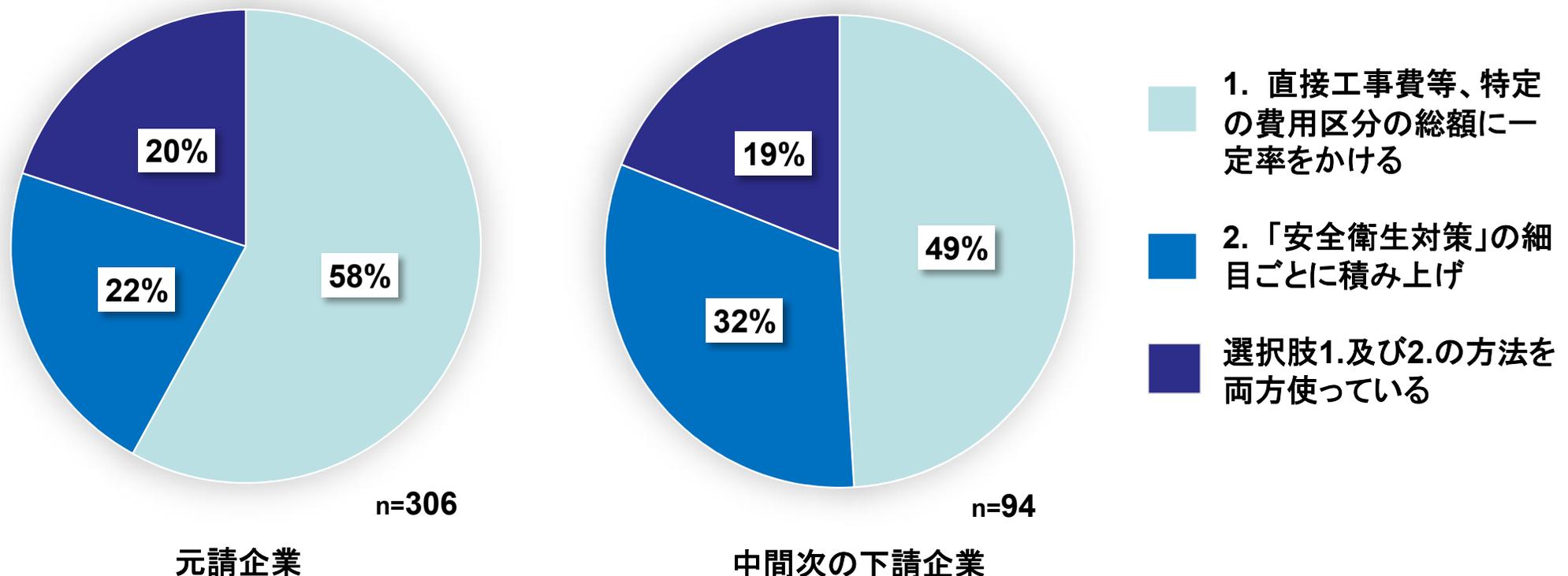
Q. 「社内ルール・マニュアルがある」の場合、「安全衛生対策」のための費用の算定に関する記載がありますか。



1. 安全衛生経費の見積書への記載の現状

○安全衛生対策のための費用の算定方法については、『「安全衛生対策」の細目ごとに積み上げ』よりも、『直接工事費等、特定の費用区分の総額に一定率をかける』と回答した企業の割合の方が多い。また、両方を使っていると回答した企業も2割程度存在。

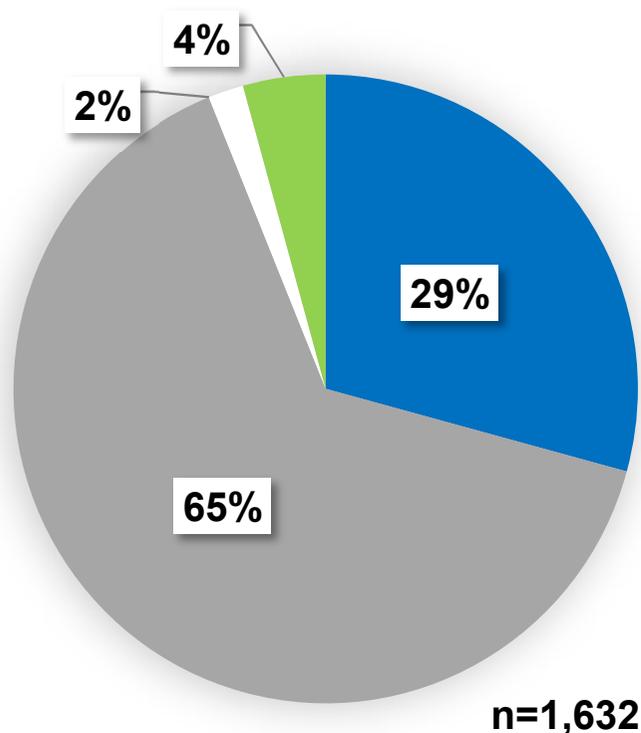
Q.「社内ルール・マニュアル」に、「安全衛生対策」のための費用の算定に関する記載がある場合、その算定をどう行っていますか。



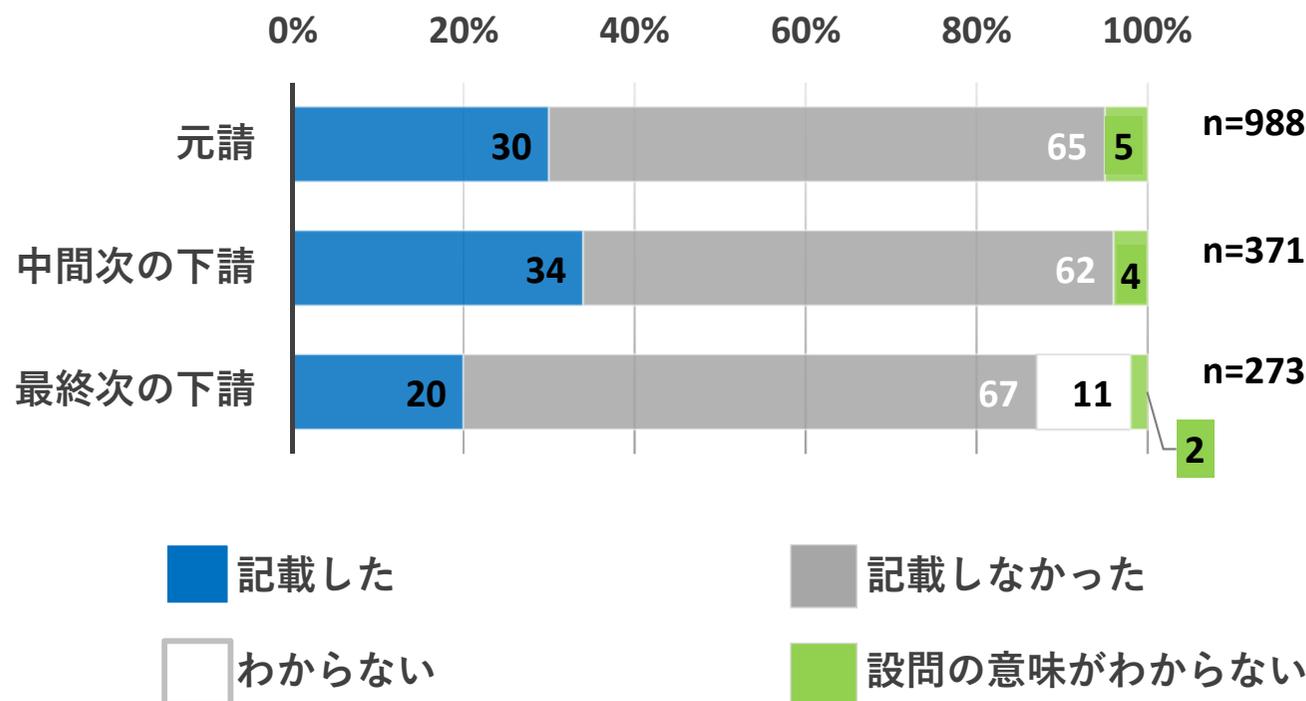
1. 安全衛生経費の見積書への記載の現状

- 全体のおよそ65%の企業が、請負代金内訳書に「安全衛生対策」のための費用を記載していない。
- 最終次の下請が最も、請負代金内訳書に「安全衛生対策」のための費用を記載した割合が小さい。

Q. 請負代金内訳書に「安全衛生対策」のための費用を記載しましたか。



合計



元請、中間、最終 別

○(公社)全国鉄筋工事業協会

会員向けに「鉄筋工事標準見積書作成手順書」を作成

【鉄筋組立費】

- ・ 直庸施工－組立管理費に、「ヘルメット、安全帯、安全管理費」を基準を設けて配分計上
- ・ 外注依頼－組立管理費に、「防災協会費、安全大会負担金、安全管理費」について基準を設けて配分計上

【鉄筋加工費】

- ・ 自社工場－工場人件費に、「ヘルメット、安全帯」を基準を設けて配分計上

【運搬費】

- ・ 自社運搬－運搬人件費に、「ヘルメット、安全帯」を基準を設けて配分計上
- ・ 他社依頼－運搬経費に、「安全研修費」を現場毎に直接配分又は基準を設けて配分計上

【一般管理費】

- ・ 人件費(役員、事務系、技術系)に「ヘルメット、安全帯」を施工規模に対する管理比率で計上

○全国圧接業協同組合連合会

会員向けに「標準見積書」及び「科目別内訳書」を作成

【直接工事費】

- ・「作業保護具・保護眼鏡・手袋」を、日当たり単価で計上
- ・「防火、消火用設備、消火器」を、日当たり単価で計上

【現場管理費】

- ・「施工要領書・安全書類」を、時間当たり単価で計上
- ・「安全パトロール」を、回数当たり単価で計上
- ・「協力会費(安全協議会費)」を、回数当たり単価で計上

1. 安全衛生経費の見積書への記載の現状

○(一社)日本トンネル専門工事業協会
会員企業が個々に安全衛生経費を計上

【会員企業の一例】

- ・ 健康診断料: 定期、職業病、雇入時を、それぞれ一式で計上
- ・ 行一会合費: 安全協議会、安全資料費、行事参加費を、それぞれ月当たり単価で計上
- ・ 施設・黒板: 掲示板・黒板を、月当たり単価で計上
- ・ 衛生管理費: 薬品費、消毒費、器具費を、それぞれ月当たり単価で計上
- ・ 安全用具類品費
 - 保安帽、安全チョッキを、それぞれ月当たり単価で計上
 - 防じんマスクを、台当たり単価で計上
 - 防じんマスク(フィルター)を、枚当たり単価で計上
 - 耳栓、保護眼鏡、プロテクターを、それぞれ個当たり単価で計上
 - 防護マット(切羽用)を、一式で計上
 - 墜落制止用器具(胴ベルト、フルハーネス)を、それぞれ個当たり単価で計上

2. 検討の進め方

- ・ 提言において「各専門工事業団体においては、社会保険加入問題への対策として、法定福利費を内訳明示した標準見積書の作成・普及が進められており、安全衛生経費についても、この取組を参考にしつつ、下請まで適切に支払われるための施策を検討、実施することが有効と考えられる。」とされている。
- ・ また、「専門工事業団体の協力を得ながら、先行的にサンプルを作成し、その事例の横展開を図っていくことが有効と考えられる。」とされている。
- ・ このことから、先行的に下記2専門工事業団体を対象に、「標準見積書」の検討・作成に取り組むこととする。
- ・ 先行工種の検討・作成にあたっては、元請の立場等から建設業団体等の協力を得ながら進めることとする。
- ・ 先行工種が行う検討・作成の結果を踏まえて、『安全衛生経費を内訳として明示するための「標準見積書」作成手順書』を作成し、専門工事業団体への周知を行うこととする。

【先行専門工事業団体】

- ・ 一般社団法人 日本型枠工事業協会
- ・ 一般社団法人 日本左官業組合連合会

【建設業団体等】

- ・ 一般社団法人 日本建設業連合会
- ・ 一般社団法人 全国建設業協会
- ・ 一般社団法人 全国中小建設業協会
- ・ 建設業労働災害防止協会
- ・ 建設労務安全研究会

【現状】

- 見積書: 工事費、値引き、消費税を列記し、合計金額を記入
- 内訳書: 基本的に工事項目(名称・品名等)ごとに
 - m²当り単価 × 施工面積
 - m当り単価 × 施工延長
 - 箇所当り単価 × 施工箇所数 等で積算
- ・ 例外的に一式金額で表示する場合もある。
- ・ 上記単価は、労務費、材料費、運搬費等、現場管理費、一般管理費等を全て含んだ単価(複合単価)であり、安全衛生経費も含まれる。
- ・ 法定福利費は、内訳の末尾に労務費に対して保険料率を乗じて計上している。

【見積り計上が必要な安全衛生経費の積算方法(案)】

- ① 安全衛生経費の算定項目を設定(P12,13暫定抽出)
- ② 経費算定式を項目ごとに設定(例: 個数 × 単価等)
- ③ 安全衛生経費の総額(1年間)を算出
- ④ 売上高(1年間)に対する安全衛生経費率を算出(安全衛生経費率)
- ⑤ 個別工事の見積書において、工事金額(値引き前、法定福利費加算前)に安全衛生経費率を乗じ、当該工事の安全衛生経費額を計上

【安全衛生経費算定項目】(暫定①)

1. 店で支出する安全衛生経費

- (1) 保護具の購入費
- (2) 火災防止・消火器具購入費
- (3) 安全活動・行事の実施経費
 - ① 安全大会
 - ② 社内安全衛生協議会、職長会
 - ③ 下請合同安全衛生協議会、職長会
 - ④ 安全パトロール
 - ⑤ 元請安全衛生協力会等
- (4) 衛生健康管理の実施経費
 - ① 健康診断実施費用
 - ② メンタルヘルス対応経費
 - ③ 救急救命用具購入費
- (5) 労災保険料・上乗せ保険料
 - ① 店社事業場
 - ② 加工工場・資機材保管庫

(6) 安全衛生教育経費

- ① 技能講習、特別教育、特別教育に準じる安全衛生教育受講費用

(7) 安全衛生関係管理書類作成経費

- ① システム登録料・利用料(「グリーンサイト」等)
- ② 書類作成、印刷、提出経費

2. 加工工場、資機材保管ヤードにおける安全衛生経費

- ① 型枠加工機メンテナンス・管理費
- ② フォークリフト等年次点検費
- ③ 警備システム費
- ④ 仮囲い・照明・休憩所・トイレ等維持費
- ⑤ 熱中症対策費(スポットクーラー・扇風機・冷水器等)

【安全衛生経費算定項目】(暫定②)

3. 個別工事現場(作業所)における安全衛生経費

(1) 安全衛生管理常駐者経費(常駐者を配置する場合)

(2) 安全衛生管理活動経費

① 職長会経費

② 送出教育、新規入場者教育経費

③ 工事現場安全衛生協議会参画経費

④ 工事現場安全点検経費

(3) 災害防止経費

① 型枠組立て作業時立入禁止措置

② 型枠支保工組立時立入禁止措置

③ 型枠解体作業立入禁止措置

④ 資機材搬入時立入禁止措置

⑤ 資機材揚重時立入禁止措置

⑥ 酸欠防止措置(必要時)

⑦ 梁型枠上親綱設置

⑧ 開口部養生設置

⑨ 足場改変後の現状復旧経費

⑩ 落下防止ネット設置、現状復旧経費

【課題】

- ・ 現状では、経費は m^2 当たり、 m 当たり、1箇所当たり等の複合単価に経費が含まれているため、安全衛生経費を個別積算する方法がない。
- ・ 安全衛生経費項目の設定と各項目の経費額を積算する方法を定める必要がある。
- ・ 工事毎に工事の安全衛生経費を積算することは極めて煩雑、事務手間が必要であり、工事金額に安全衛生経費率を乗じて安全衛生経費を算定する方式が現実的。
- ・ 但し、安全衛生経費率の算定項目を別途明示する必要がある。

【現状】

- 見積書: 工事費、値引き、消費税を列記し、合計金額を記入
- 内訳書: 左官工の項目ごとに、「数量」(m、m²、箇所) × 単価※で積算
 - ※ 単価は材工(材料+労務費)の場合と、材料が元請支給で、工(労務費)のみの場合がある。
 - ・ 少量の場合は一式で積算。
 - ・ 上記については、現場管理費、一般管理費等を全て含んだ金額としている場合が多い。
 - ・ 法定福利費は、内訳の末尾に労務費に対して保険料率を乗じて計上している。

【見積り計上が必要な安全衛生経費の積算方法(案)】

- ① 1人当りの年間安全衛生経費(安全衛生費(保護具購入費等)、教育訓練費、健康診断費等)を算出
- ② 安全衛生経費率(%)を算出
1人当たりの年間安全衛生経費 ÷ 年収(公共工事設計労務単価 × 年間就業日数) × 100
- ③ 個別工事の見積書において、労務費に安全衛生経費率を乗じ、当該工事の安全衛生経費額を計上

【課題】

- ・ 左官工の見積項目の種類が多く、小工事の現場もあるため、見積書作成時に安全衛生経費の積算が煩雑にならないようにしたい。
- ・ 元請専用書式の見積書ではなく、標準見積書の利用を推進していただき、安全衛生経費を貰いやすくしてほしい。
- ・ 左官は補修工事等が発生したりして当初の見積内容以外の追加工事が多いため、その時も安全衛生経費等が計上できるようにしたい。

4. 作成手順書(構成案)

・先行的に行う検討・作成の結果等を踏まえて、『安全衛生経費を内訳として明示するための「標準見積書」作成手順書』を作成し、専門工事業団体への周知を行うこととする。

- 1 『安全衛生経費を内訳として明示するための「標準見積書」』とは
本取組の背景、必要性等について記載
 - ・ 実務者検討会、WGでの検討経緯
 - ・ 安全衛生経費の必要性
 - ・ 安全衛生経費は、建設業法19条の3に規定する「通常必要と認められる原価」
- 2 内訳明示する安全衛生経費の範囲
 - ・ 直接工事費:〇〇、〇〇、……
 - ・ 共通仮設費:〇〇、〇〇、……
 - ・ 現場管理費:〇〇、〇〇、……
 - ・ 一般管理費:〇〇、〇〇、……
- 3 内訳明示する安全衛生経費の算出方法
 - ・ 積み上げ方式の算出例
 - ・ 率計算方式の算出例
- 4 安全衛生経費を内訳として明示するための「標準見積り書」の作成例
- 5 よくある質問

令和5年度のスケジュール

令和5年10月2日(月)

第4回WG

- ・確認表について
- ・「標準見積り書」検討の進め方

令和5年12月頃

第5回WG

- ・先行工種「標準見積り書(案)」
- ・「標準見積り書」作成手順書(案)
- ・戦略的広報に関する事項

令和6年3月頃

第6回WG

- ・先行工種「標準見積り書」とりまとめ
- ・「標準見積り書」作成手順書とりまとめ
- ・戦略的広報に関する事項